

# 市民意向調査の結果・分析について

## 意向調査

### 1. 調査概要

- 調査目的** この調査は、第五次総合計画（計画期間平成 20 年度～29 年度）の進行管理を目的とした行政評価を補完するものとして、計画の主な施策分野の現状に対する市民の満足度や重要度に関する意向を調査するため、アンケート調査を実施した。
- 調査対象** 大垣市在住の 18 歳以上の市民 1,000 人を無作為に抽出した。
- 調査方法** 郵送配布、郵送回収により実施した。
- 調査期間** 平成 21 年 5 月 29 日～6 月 15 日

### 2. 調査内容

設問は、大垣市第五次総合計画の体系に基づき、基本施策（48 施策）に対する満足度及び重要度について、市民の意向を 5 つの選択肢で尋ねた。

#### < 施策 >

施策大綱	基本施策数	設問番号
都市基盤（快適で機能的なまちづくり）	11 施策	1～11
産業振興（にぎわいと活力あるまちづくり）	6 施策	12～17
生活環境（安全で環境にやさしいまちづくり）	9 施策	18～26
健康・福祉・人権（健やかでぬくもりのあるまちづくり）	9 施策	27～35
人づくり（豊かな心と人間性を育てるまちづくり）	9 施策	36～44
市民協働（一人ひとりが輝く協働のまちづくり）	4 施策	45～48

#### < 設問内容 >

施策の柱	基本施策	設問
都市環境の整備	土地利用	(1) 快適な市街地の形成など計画的な土地利用の推進
	中心市街地	(2) 中心市街地の再整備
	住生活	(3) 公営住宅や分譲宅地の整備
	公園・緑地	(4) 公園、緑地の充実・維持管理
	緑化	(5) 緑化の推進や緑の活用
	景観	(6) 景観に配慮したまちづくり
	水道	(7) 上水道の整備
	下水道	(8) 下水道の整備
交通・情報ネットワークの整備	総合交通	(9) 鉄道、バスなどの公共交通の整備
	道路	(10) 市道など生活道路の整備
	情報通信	(11) 情報・通信基盤の整備

地域産業の振興	産業活性化	(12)情報産業などの新産業の創出と企業誘致
	商 業	(13)商業やサービス業の育成・支援
	農 業	(14)農業の育成・支援
	森林・林業	(15)林業の育成・支援
観光の振興	観光・イベント	(16)観光産業の育成・支援
労働環境の充実	就労支援	(17)就労環境の整備など勤労者福祉の向上
安全な生活の確保	治山・治水	(18)治水・水害に対する備え
	危機管理・防災	(19)地震災害などに対する備え
	消防・救急	(20)消防や救急体制の整備
	防 犯	(21)防犯対策の充実
	交通安全	(22)交通安全対策の充実
	消費生活	(23)消費者相談体制の充実
良好な環境の形成	環境保全	(24)地球温暖化防止など環境保全の推進
	廃棄物	(25)ごみの減量化やリサイクルの推進
	環境衛生	(26)環境美化など地域環境衛生の向上
健康・医療の充実	健 康	(27)健康づくりの推進や母子保健の充実
	食 育	(28)食育・食農教育の推進
	医 療	(29)保健施設、医療施設の充実と利用のしやすさの向上
地域福祉の充実	地域福祉	(30)福祉サービスの利用体制の整備
	障害者(児)福祉	(31)障がい者の就労支援や福祉サービスの充実
	高齢者福祉	(32)高齢者の健康づくりや福祉サービスの充実
	社会保障	(33)介護保険制度などの適正運営や介護サービスの充実
人権の尊重	人 権	(34)人権教育、啓発活動など人権尊重
	男女共同参画	(35)男女の地位平等の推進
子育て支援の充実	子育て支援	(36)保育サービスや子育て相談など子育て支援
	青少年健全育成	(37)青少年の健全育成の充実
学校教育の充実	学校教育	(38)学校教育の充実
	高等教育	(39)共同研究など大学等との連携強化
生涯学習の充実	生涯学習	(40)生涯学習の充実
	生涯スポーツ	(41)スポーツ環境の充実
文化交流の推進	芸術文化	(42)芸術や地域文化の継承や振興
	文化財	(43)文化財の保護・活用
	多文化共生	(44)国際交流や外国人市民が暮らしやすい地域づくり
市民協働の推進	市民協働	(45)まちづくりへの市民参加
	市民自治	(46)住民による地域コミュニティ活動及びボランティア活動への支援
行政経営の効率化の推進	行政経営	(47)行財政改革への取り組み
	広域行政	(48)消防業務など広域行政の推進

< 選択肢（5段階） >

【満足度】		【重要度】	
5	満足している	5	重要である
4	やや満足している	4	やや重要である
3	ふつう	3	ふつう
2	やや不満である	2	あまり重要でない
1	不満である	1	重要でない

### 3. 結果概要

#### 回答結果

発送数	回答数	回答率
1,000	449	44.9%

#### 性別

性別	回答数	割合
男	216	48.1%
女	233	51.9%

#### 年齢別

年齢	回答数	割合
18～29歳	48	10.7%
30～39歳	79	17.6%
40～49歳	76	16.9%
50～59歳	78	17.4%
60～69歳	99	22.0%
70歳以上	69	15.4%

#### 地域別

地区	回答数	割合
旧大垣市地域	415	92.4%
上石津・墨俣地域	34	7.6%

## 分 析

### 加重平均値による分析

分析に際しては、次表のとおり各選択肢を点数化し、各選択肢の回答数にその点数を乗じ回答者数で除することで、満足度、重要度の加重平均値として算出した。

加重平均値の一覧表（表 1 - 1）及び分布図（表 1 - 2）は別添のとおり。

【満足度】			【重要度】		
5	満足している	+ 2 点	5	重要である	+ 2 点
4	やや満足している	+ 1 点	4	やや重要である	+ 1 点
3	ふつう	0 点	3	ふつう	0 点
2	やや不満である	- 1 点	2	あまり重要でない	- 1 点
1	不満である	- 2 点	1	重要でない	- 2 点

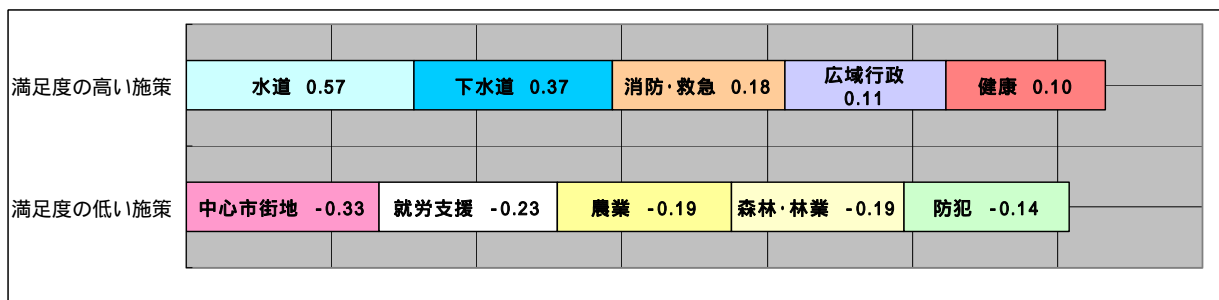
### 満足度の上位、下位の各 5 施策

満足度の上位は、昨年度と同様、「水道」「下水道」の『都市環境の整備』に関する施策が上位を占めた。今回 5 位となった「健康」も昨年度の調査では 6 位であったため、市民の満足度の高い施策の傾向は変わっていない。

なお、満足度の順位が変動した施策は、「治山・治水」が 42 位から 20 位、「危機管理・防災」が、47 位から 36 位へと安全・安心分野が大幅に改善した。また「緑化」、「公園・緑地」もそれぞれ 26 位から 11 位へ、37 位から 24 位へ順位をあげた。逆に、「住生活」は、3 位から 29 位に大きく順位を下げた。

また、満足度の低い施策についても昨年度と同様の「中心市街地」が最下位となったが、満足度の加重平均値は昨年度と比較して 0.1 ポイント上昇している。

「就労支援」は順位を 44 位から 47 位へ下げているが、昨年 9 月からの経済危機の影響を大きくうけていると考えられる。



### 重要度の上位、下位の各 5 施策

重要度の上位は、概ね昨年度の調査から大きな順位の変動はなく、「医療」、「危機管理・防災」、「防犯」といった昨年と同様の施策が占め、5 位に「学校教育」が入ってきたのが今年度の特徴である。

「危機管理・防災」、「治山・治水」は、昨年に引き続き上位 5 施策に入ったが、加重平均値は他の施策と比べて大きく落ちている。

一方、重要度の下位も「住生活」、「多文化共生」、「生涯スポーツ」、「男女共同参画」といった昨年度と同様の施策が並んでいる。「高等教育」は昨年度に比べて重要度が大幅に低下している。市民にとって身近ではない、施策について重要度が下位になっている。

重要度の高い施策	医療 1.25	危機管理・防災 1.19	社会保障 1.19	防犯 1.15	治山・治水 1.11	学校教育 1.11
重要度の低い施策	住生活 0.35	多文化共生 0.36	男女共同参画 0.41	生涯スポーツ 0.45	高等教育 0.45	

1 重要度の高い施策の治山・治水、学校教育は同順位のため、6 施策計上していません。

## 1. 分布図（表1-2）の分析

各施策の満足度及び重要度の加重平均値を縦軸と横軸にした分布により、次の4つに区分した。

区 分	解 説
早期改善施策	重要度は高いが満足度は低い施策で、優先的に推進すべきもの。
随時改善施策	重要度、満足度が共に高い施策で、今後も必要に応じた対応が求められるもの。
現状維持施策	重要度は比較的低いが高満足度が高い施策で、現状レベルで良いと考えられるもの。
長期対応施策	重要度、満足度が共に低い施策であるが、長期的な視点で取り組むべきであると考えられるもの。

### < 早期改善施策 > (表中の数値は加重平均値、( )内は順位。)

基本施策名	設問項目	満足度	重要度
危機管理・防災	(19)地震災害などに対する備え	- 0.10( 36 )	1.19 ( 2 )
防犯	(21)防犯対策の充実	- 0.14( 43 )	1.25 ( 6 )
社会保障	(33)介護保険制度などの適正運営や介護サービスの充実	- 0.12( 40 )	1.19 ( 2 )
高齢者福祉	(32)高齢者の健康づくりや福祉サービスの充実	- 0.04( 25 )	1.10 ( 7 )
就労支援	(17)就労環境の整備など勤労者福祉の充実	- 0.23( 47 )	1.04( 11 )

市民の重要度は高いが、満足度が低い施策で、今後、優先的に推進すべき主な施策は上記の施策である。

安心・安全に関係する施策が引き続き入っているが、地域福祉の充実に関する施策が昨年度に比べて多くなった。経済状況の悪化に伴い、市民の生活不安が大きく影響していると考えられる。

### < 随時改善施策 > (表中の数値は加重平均値、( )内は順位。)

基本施策名	設問項目	満足度	重要度
消防・救急	(20)消防や救急体制の整備	0.18 ( 3 )	1.10 ( 7 )
廃棄物	(25)ごみの減量化やリサイクルの推進	0.09 ( 6 )	1.08 ( 9 )
健康	(27)健康づくりの推進や母子保健の充実	0.10 ( 5 )	1.00 ( 12 )

市民の重要度、満足度が共に高く、概ね高い評価を受けた施策であり、必要に応じた対応が今後とも求められる主な施策は、上記の施策である。

環境問題や健康づくりなど身近で関心の高い施策が多い傾向は、昨年度と同様である。随時、適切な対応が求められていると考えられる。

< 現状維持施策 >

(表中の数値は加重平均値、( )内は順位。)

基本施策名	設問項目	満足度	重要度
水道	(7)上水道の整備	0.57 ( 1 )	0.76 ( 30 )
下水道	(8)下水道の整備	0.37 ( 2 )	0.88 ( 18 )
広域行政	(48)消防業務など広域行政の推進	0.11 ( 4 )	0.88 ( 18 )
文化財	(43)文化財の保護・活用	0.09 ( 6 )	0.47 ( 43 )

市民の重要度は比較的低いですが、満足度は非常に高い施策であり、現状で良いと考えられている主な施策は、上記の施策である。

「水道」、「下水道」については、満足度が 1 位、2 位と非常に高いが、整備が進んでいることもあり、重要度は下位となっている。

「文化財」については、文化財の保護・活用など関係する市民との関わりが少ない分野に関する施策であるため、重要度は下位になったと考えられる。

< 長期対応施策 >

(表中の数値は加重平均値、( )内は順位。)

基本施策名	設問項目	満足度	重要度
住生活	(3)公営住宅や分譲宅地の整備	- 0.06 ( 29 )	0.35 ( 48 )
高等教育	(39)共同研究など大学等との連携	- 0.07 ( 33 )	0.45 ( 44 )
森林・林業	(15)林業の育成・支援	- 0.14 ( 43 )	0.48 ( 40 )

市民の重要度、満足度が共に低い施策であるが、長期的な視点で取り組むべきであると考えられる主な施策は、上記の施策である。

改善を望む声は多いものの、長期的な課題として市民は考えていると捉えることができる。

特に「高等教育」は昨年度の調査に比べて、満足度及び重要度の加重平均値が共に落ちている。